

## ① アセサイド6%消毒液(実用液) 濃度確認の重要性について

### ✓ アセサイド実用液の濃度は有効ですか？

アセサイド実用液は、繰り返し使用する間に徐々に過酢酸濃度が低下していきますが、その**低下スピードは、使用回数や使用環境により一定ではありません。**

また、**洗浄消毒機能を全く使用しない時でも、経時変化で過酢酸濃度は低下していきます。**  
 実用下限濃度を下回ったアセサイド実用液を使用した場合、十分な殺菌効果を得られず、内視鏡を介した感染につながるおそれがあります。



#### 使用回数

すすぎ水や汚れの持ち込みなどで、過酢酸濃度が低下する。

#### 経時変化

**全く使用しなくても**  
 日数・時間が経過すると過酢酸濃度が低下する。

#### 使用環境

室温が高い状態では、過酢酸濃度の低下が促進される。

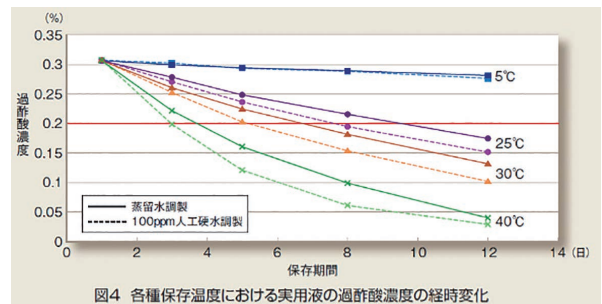


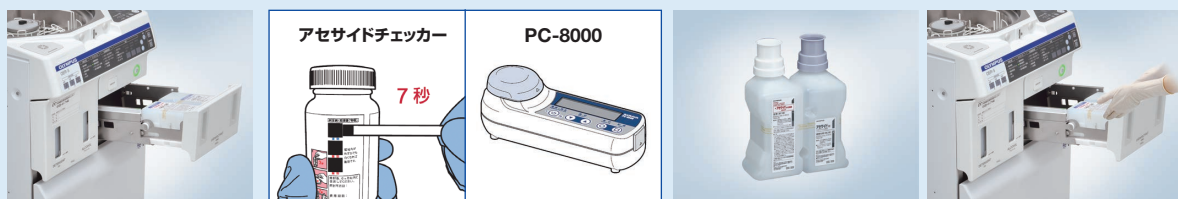
図4 各種保存温度における実用液の過酢酸濃度の経時変化

(引用元) サラヤHP アセサイド6%消毒液【製品情報PDF】



**内視鏡洗浄消毒装置を使用する際には、アセサイド実用液が実用下限濃度(過酢酸濃度0.2%)以上であることを、毎回確認してください。実用下限濃度以下であった場合は、必ず交換してから使用してください。**

### ▶ アセサイド6%消毒液 ご使用の流れ



装置へセット

濃度測定

消毒に使用

薬液の排出



資料裏面には、アセサイド6%消毒液(実用液)に関するQ&Aをまとめています。



## アセサイド6%消毒液(実用液)に関するQ&A

**Q** アセサイド実用液の交換目安(日数・回数)を教えてください。

**A** 当社としては、**症例ごとに毎回濃度を確認いただき、実用下限濃度以下であれば、新しい薬液へ交換いただく**ようお願いしております。アセサイド実用液は、使用回数や使用環境(季節による寒暖差含む)によって、過酢酸濃度の低下スピードが異なります。また、全く使用しない場合でも、経時変化によって濃度は低下していきます。そのため、当社では日数や回数といった具体的な交換目安は設定しておりません。

**Q** どうすれば濃度を確認できるのですか？

**A** アセサイドチェッカー(専用試験紙)またはポータブル濃度チェッカーPC-8000(専用濃度測定器)を用いることで、濃度を確認することができます。詳しい使用方法については、各製品の取扱説明書をご確認いただくか、当社までお問い合わせください。

**Q** アセサイド6%消毒液の保管方法を教えてください。

**A** **遮光して、1～25℃での保管をお願いいたします。**  
25℃以上の場合、過酢酸濃度の低下が促進され、通常よりも交換の頻度が多くなってしまふおそれがあります。また、**液漏れを防止するため、容器は横倒しにしないよう**ご注意ください。

**Q** 洗浄消毒装置のパネルにボトルのようなマークが表示されています。これは何ですか？

**A** 「消毒液交換表示」のマークです。あらかじめ設定した使用回数または使用日数<sup>(※)</sup>になるとランプが点灯し、消毒液の交換目安をお知らせします。この機能は、消毒効果を判定するものではありませんので、**ランプが点灯した場合でも、過酢酸濃度が有効であることが確認できていれば、そのまま消毒工程を実施いただいで問題ありません。**

(※)初期設定は15回もしくは3日です。設定値は、「使用回数:1～35回」、「使用日数:1～14日」の範囲で自由に設定が可能です。

**Q** エラー[E99]が発生しました。これは何のエラーですか？

**A** **消毒液交換後の日数、使用回数が多すぎる場合に発生するエラー**です。より安全にご使用いただくため、有効濃度を下回る可能性のある消毒液を使用させない機能を、洗浄消毒装置側に設けております。

なお、**[E99]は消毒液交換のタイミングをお知らせするものではありません。**

消毒液の濃度は、症例ごとに毎回ご確認くださいようお願いします。

●仕様・外観については、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。